

## VI 秩父大好き人間育成事業

### 1 子どもちちぶ学士・子どもちちぶ博士

#### 1 趣 旨

秩父市の自然、歴史、文化、産業等、郷土に関する調査・研究を複数年にわたって進め、その成果が特に顕著であると認められる場合、又は一定の領域についての調査・研究・実践に複数年にわたって取り組み、努力の成果が特に顕著であると認められる場合、小学生には「子どもちちぶ学士」、中学生には「子どもちちぶ博士」の称号を授与する。

また、一定の領域についての調査、研究が、ジオパーク秩父に関連した調査、研究に該当する場合、「子どもちちぶジオ学士」「子どもちちぶジオ博士」の称号を授与する。

#### 2 平成25年度の学士・博士の研究等の概要

##### (1) 子どもちちぶ学士（小学生9名）〔含ジオ学士5名〕

<b>学士</b>	No.32	<b>学校名</b> ：秩父第一小学校	<b>学年</b> ：4 学年	<b>氏 名</b> ：高橋 凜花
<b>研究領域</b>	社会科			
<b>研究テーマ</b>	みんなの秩父第一小学校調べ			※ジオ学士
<b>1 研究内容</b>				
① 今と昔の児童数の変化				
② 秩父第一小学校の歴史				
③ 秩父第一小学校の場所				
④ 昔、使っていた物や遊び				
⑤ 校歌について（さいたま文学館見学）				
⑥ 現在、展示されている鹿について				
<b>2 研究成果</b>				
私の学校「秩父第一小学校」が、多くの人を通い、すばらしい校舎であったり、どのように分れたのか、すごい事がいっぱいある学校だと良くわかりました。				
校歌は、自慢したくなるほど立派な校歌だとわかりました。				

<b>学士</b>	No.33	<b>学校名</b> ：南小学校	<b>学年</b> ：6 学年	<b>氏 名</b> ：黒田 梨世
<b>研究領域</b>	理科			
<b>研究テーマ</b>	深海ザメは深海で何をしている			
<b>1 研究内容</b>				
人間が、深海に行くのはとても大変なことだ。そんな深海で生きているサメはどんな行動をとるのか調べてみた。				
市立図書館や自宅にある図鑑で調べたり、インターネットで調べたり、沼津市にある「沼津港深海水族館」を訪れ、サメの様子を実際に観察したりした。観察したことはノートに記録し、疑問点については、図鑑やインターネットを利用して調べてまとめた。				
<b>2 研究成果</b>				
研究を通して、深海という高い水圧に耐えて生活している深海ザメの生態が少しわかった。				
①目について・・・深海には、わずかな光しか届かないが、わずかな光を効果的に取り入れる工夫がある。				
②発光器について・・・深海は真っ暗だから、自分が光って仲間に合図したり、獲物				

をおびき寄せたりしている。

③食べ物について・・・決まった物を食べる。深海では、いつもえさを捕まえられるとは限らない。だから、普段はじっとして、無駄なエネルギーを使わないようにしている。

④体の色について・・・茶色や灰色が多い。真っ暗な深海では、目立つような色は必要ない。

学士	No.34	学校名：南小学校	学年：6 学年	氏名：中田 朝陽
研究領域	家庭科			
研究テーマ	納豆を食べて元気もりもり			
1 研究内容	<p>納豆は体にもよく、海外でも注目されている食品である。納豆嫌いの人が多いので、そういう人たちに納豆の良さを伝えたいと思って調べた。インターネットや納豆に関する本を使って調べた。</p>			
2 研究成果	<p>(1) 調べたことをまとめる。</p> <p>①納豆とは・・・大豆を納豆菌で発酵させた発酵食品である。成分の「ナットウキナーゼ」には、健康増進効果がある。</p> <p>②納豆の名称について・・・「納豆」という名前の由来は、昔、お寺で出された精進料理として、「納所」というお寺の倉庫で作られたことからきている。</p> <p>③納豆の栄養・・・主な栄養素には、ビタミンB2がある。これには、疲労を回復させる効果がある。また、ビタミンKには、骨を丈夫にする働きがある。さらに、納豆菌には整腸作用がある。</p> <p>(2) 納豆料理のレシピを考える。</p> <p>○キムチ納豆 ○マヨネーズ納豆 ○納豆お好み焼き ○納豆オムレツ</p> <p>納豆の「臭い」や「ねばねば」など、見た目の印象の悪さを解消させるためには、細かくして形を見せないようにしたり、カレー粉やマヨネーズなど臭いを隠してしまうような工夫が必要である。</p>			

学士	No.35	学校名：尾田蒔小学校	学年：3 学年	氏名：島寄 志乃
研究領域	社会科			
研究テーマ	大滝地区を自分の目でたしかめよう			※ジオ学士
1 研究内容	<p>社会科の勉強で秩父のことを調べて、大滝地区って山やダムがたくさんあってすごいなあと思い、この研究をすることにしました。</p> <p>滝沢ダム、二瀬ダム、雁坂トンネル、大滝特産品販売センター、栃本関所跡、大滝駐在所、大滝小・中学校、三峯神社等を見学し、その様子や人々の暮らし方についてノートにまとめました。</p>			
2 研究成果	<p>大滝にある色々なところが見られてよかったです。知りたいことを知ることができてよかったです。この研究で一番びっくりしたことは、三峯神社の神木が、800年も生きていたことです。また、一番「すごい!」と思ったことは、真夏なのに、</p>			

気温が27度ととても涼しかったことです。

大滝は、とっても気持ちのいいところなので、みなさんも行ってみてください。

<b>学士</b>	No.36	<b>学校名</b> ：尾田蒔小学校	<b>学年</b> ：6 学年	<b>氏名</b> ：新井 大貴
<b>研究領域</b>	社会科			
<b>研究テーマ</b>	萩平歌舞伎舞台			※ジオ学士
<b>1 研究内容</b>				
ぼくは、小学校1年の時から、姉を見て歌舞伎を始めました。				
ぼくたちが、毎年10月に歌舞伎を披露している萩平の歌舞伎舞台は、埼玉県の有形民俗文化財に指定されています。この萩平の歌舞伎舞台について、調べてまとめました。				
<b>2 研究成果</b>				
萩平歌舞伎舞台は、明治の初めに建設され、現在まで保存されてきました。				
この萩平歌舞伎舞台には、舞台中央の廻り舞台があり、その中心には二重舞台が設けられています。舞台背面中央の壁面を裏側に倒すと、床が突出する仕組みの他、せり上げの切抜きや舞台前面には、照明をくり出す穴などが整っています。				
また、芝居道具も保存され、早がわりの工夫をこらした襖など、特殊なものもあります。				
秩父地方には、約30の農村歌舞伎舞台があると聞いていますが、その中でも、とても優れたものだということがわかりました。				

<b>学士</b>	No.37	<b>学校名</b> ：大田小学校	<b>学年</b> ：2 学年	<b>氏名</b> ：金子 太洋
<b>研究領域</b>	理科			
<b>研究テーマ</b>	ヒマワリの観察			
<b>1 研究内容</b>				
(1)ヒマワリの観察記録①				
たくさんの種をまいた中から1本のヒマワリを決め、6月18日の種まきから8月17日の開花までのヒマワリの成長を毎日観察し、ノートに記録した。最後に種取りをし、数を数えた。				
(2)ヒマワリの観察記録②				
ヒマワリの成長過程における色々な発見を観察した。				
・種の観察				
・種を水に含ませたガーゼの上に置き、どのように発芽するか観察し、また種を半分に切り、中はどうなっているか調べた。				
・葉の観察をし、双葉と本葉の違いや葉の付き方を詳しく観察した。				
・つぼみの発見から開花まで、つぼみの付き方から花の咲き方や特徴、動き等を注意深く観察した。				
(3)「ヒマワリは、お日さまのある方に動くってほんと？」				
抱いた疑問について、いくつかの実験に取り組み、結果をまとめた。				
<b>2 研究成果</b>				
(1)種まきから開花まで、ヒマワリの成長の様子や変化を毎日根気よく観察し、記録することができた。毎日数回の水やりや乾燥対策や肥料やりなど、自分で育て管理することで、きれいな花を咲かせることができた。また、1つの小さなヒマワリの種から、たくさんの種を取ることができた。				
(2)観察する中で気付いたことや興味をもったことを詳しく追及することで、植物のしくみや性質を学習することができた。				
(3)ヒマワリは太陽のある方へ本当に動くのかという疑問に対して、いくつかの実				

験や観察、本で調べることにより、結果をまとめることができた。

<b>学士</b>	No.38	<b>学校名</b> ：吉田小学校	<b>学年</b> ：5 学年	<b>氏名</b> ：新田 有彩
<b>研究領域</b>	理科			
<b>研究テーマ</b>	雷について			
<p><b>1 研究内容</b></p> <p>①雷がどのように発生するか</p> <p>②雷が発生する時、温度と湿度は関係あるのか</p> <p>③温度と湿度で雷の予測はできるのか</p> <p>①について、雷の仕組みについて調べた。</p> <p>②・③について、7/20～8/16の28日間、温度・湿度を測り、雲の様子を写真に撮り観察した。</p> <p><b>2 研究成果</b></p> <p>①については、雷の仕組みを理解することができた。</p> <p>②については、28日間で雷が起きた日は6日間で、すべて気温30℃以上、湿度50%以上だった。湿度が80%と高い日もあったが、気温は25℃以下と低く、雷は起こらなかった。このことから、温度や湿度のどちらかだけ高い場合には雷は発生しておらず、どちらも高くないと雷は起こらないということがわかった。そのため、雷が発生する時、温度と湿度は関係があると思った。</p> <p>③については、雷が発生する時に、温度と湿度が上がるという結果が出たので、予測できるのではないかと思った。更に、今回、雲の様子も観察し、雷が発生する時に積乱雲が見られることが多く、雲の状態も一緒に観察することで、雷の予測はできるのではないかと思った。</p>				

<b>学士</b>	No.39	<b>学校名</b> ：荒川東小学校	<b>学年</b> ：5 学年	<b>氏名</b> ：佐々木 悠宇
<b>研究領域</b>	社会科			
<b>研究テーマ</b>	浅間神社の神楽の研究			※ジオ学士
<p><b>1 研究内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浅間神社の歴史について</li> <li>・浅間神社の神楽</li> <li>・神楽の座について</li> <li>・神楽の1日のながれ</li> <li>・特に興味のある座について</li> </ul> <p><b>2 研究成果</b></p> <p>浅間神社の歴史については、浅間神社ができた時期や、現在のようになるまでの歴史について調べ、まとめました。浅間神社は以前、荒川中学校辺りにあったこと、昭和41年に現在の場所へ移されたことを初めて知りました。</p> <p>神楽の歴史について、日野の神楽がいつごろから行われるようになったか、どうやって伝承されてきたかなどを調べました。神楽殿の特徴などについても調べました。</p> <p>神楽の座について、神楽にはどんな座があるのか、いつ行われているのか特徴を調べました。</p> <p>神楽の1日のながれについて、お祭りの日に神楽師さんに密着し、1日のながれをまとめてみました。</p> <p>特に興味のある座について、自分が特に興味をもった座について、神楽師さんから話を聞いたりしてまとめました。</p> <p>今まで知らなかった浅間神社の歴史や、神楽について理解を深めることができました。取材をする中で、神楽の舞台裏なども見学することができ、貴重な体験をしました。また、高齢化などにより人材不足になっているなど、神楽師が抱える問題も知ることができました。</p>				

<b>学士</b>	No.40	<b>学校名</b> ：荒川東小学校	<b>学年</b> ：5 学年	<b>氏名</b> ：高野 息吹
<b>研究領域</b>	理科			
<b>研究テーマ</b>	荒川の水質検査「山から海へ 荒川 173 Kmの旅」 ※ジオ学士			
<b>1 研究内容</b>				
<p>僕の住んでいる秩父市荒川（旧荒川村）には、荒川が横切るように流れています。小さい頃から父と釣りをしたり、川遊びをしたりしている大好きな川です。</p> <p>その荒川がどこから始まり、どこまで流れているのか、そして上流と下流の水質はどう違うのか、疑問に思いました。夏休みを利用して荒川の起点から河口まで行き、川の様子と水質を調べてみました。</p>				
<b>2 研究成果</b>				
<p>荒川起点の大滝から、荒川河口 0 Kmの東京都江東区までの間を6か所行ってみました。そして、5か所で水質検査をしました。</p> <p>荒川の上流と下流では、色々な違いがありました。荒川起点では水質がきれいでしたが、荒川河口付近では水が汚れていて匂いがあり、水質の違いに驚きました。住んでいる魚も全く違うので、水質によって住める魚と住めない魚がいるのだと思いました。荒川には支流が120以上あるので、さまざまな汚れが入り込んで、下流へ行くほど色々な生活用水などの汚れが川を汚していると思います。</p> <p>そして、川の形も違いました。上流は岩があり川幅も狭く流れが速いのですが、下流は川幅が広く流れもゆるやかで、石も小さく丸いものが多いし、河口付近には貝殻が多くみられました。同じ荒川でも海に近い川と山の中の川では、周りの景色も様子も違うので驚きました。</p>				

(2) 子どもちちぶ博士（中学生1名）

<b>博士</b>	No.58	<b>学校名</b> ：秩父第一中学校	<b>学年</b> ：1 学年	<b>氏名</b> ：加藤 かおり
<b>研究領域</b>	理科			
<b>研究テーマ</b>	ふりこの法則			
<b>1 研究内容</b>				
<p>色々なふりこを作り、その振れ方を観察し、振れ方に法則性があるかどうかを調べ、まとめてみる。</p> <p>実験1 色々な長さ重さのふりこを作り、互いの振れ方を調べる。</p> <p>実験2 共振したふりこの動きを調べる。</p> <p>実験3 長さが等しく、重さの違うふりこで、共振の動きを調べる。</p> <p>実験4 ビー玉で作った「カチカチふりこ」の動きを調べる。</p> <p>実験5 スーパーボールで作った「カチカチふりこ」の動きを調べる。</p> <p>実験6 ビー玉で作った「カチカチふりこ」に、大きなビー玉を1個入れて動き方を調べる。</p> <p>実験7 ふりこで色々な模様を書いてみる。</p>				
<b>2 研究成果</b>				
<p>ふりこの振れ方には、それぞれ法則がある事が実験の結果からわかった。ふりこの糸の長さが同じ時、お互いのふりこが振れ始め、共振が起こることがわかった。互いの振れ方は、移動していくこともわかった。また、ふりこの重さによって、振れ方が違うこともわかった。</p> <p>カチカチふりこは、当てた球と同じ数の球が反対側から弾かれ、それが戻って当たり、また反対側から同じ数の球が弾かれる規則正しい運動を繰り返すことがわかった。ふりこの吊るし方で模様が書ける事も実証できた。この様なふりこの動きが生活の中にも活用されていることもあった。</p>				

## 2 秩父市子ども伝統芸能伝道師・子ども芸術文化伝道師

### 1 趣 旨

秩父市に古くから伝わる伝統芸能の継承、普及等に継続的に取り組み、優れた成果を収めている児童生徒に「秩父市子ども伝統芸能伝道師」、芸術文化活動において特に優れた成果のあった児童生徒に「秩父市子ども芸術文化伝道師」の称号を授与する。

### 2 平成25年度「秩父市子ども伝統芸能伝道師・子ども芸術文化伝道師」授与児童生徒

(1) 秩父市子ども伝統芸能伝道師（小学生23名、中学生126名、合計149名）

伝統芸能名称	学校名	学年	児童生徒名
秩父屋台囃子	西小学校	小5	井上遼一郎 小林瑠海 齋藤晴紀 國枝葵
		小4	明石優希 上原清香 江原成海 中野成政 新井奏宇 打木竣 関根心子 濱田亮次郎
	尾田蒔小学校	小6	島田智貴
	原谷小学校	小6	村田葉歩
	久那小学校	小6	吉野真名
萩平歌舞伎	尾田蒔小学校	小6	新井大貴 池田香湖 菅沼彩花
	尾田蒔中学校	中3	新井舞香 菅沼愛里
浦山の獅子舞	尾田蒔小学校	小6	新井萌未
	影森中学校	中3	浅見 周 新井惇平 新井徹平 後藤京香 小林海斗 齊藤 萌 中島絢音 福嶋翔太 山岸桃子 新井大貴 大澤亮輔 筒江瑠奈 富田颯一 名取花菜 原嶋隼也 宮下拓己 渡部力三
荒川白久神明社の御神楽囃子	荒川西小学校	小6	黒沢 昇 坂本英絵 森 愛名
荒川日向熊野神社の獅子舞	荒川西小学校	小6	菅沼 響
日本舞踊（秩父夜祭曳き踊り）	秩父第二中学校	中1	高野朋花
貴布禰神社神楽	吉田中学校	中2	青木日菜乃 浅賀悠平 新井結花 新井隆士 岩田彩 大森優 串田茜 黒沢真緒 小池泉美 齋藤龍磨 瀧田祥大 田嶋美咲 玉城桃香 中山ひとみ 新田隼也 引間脩平 福田英樹 藤元洸弥 宮前芹菜 茂木翔平 森田大輝 柳原咲彩 新井明乃 新井花菜 新井佑亮 石間戸洋希 井相田洋輔 大塚慎也 岡田秀光慧 岡本朱里 小菅萌 小林愛実 瀧寄有紀 杉山朱音 田嶋利来 富田采花 富田明日香 橋本祐花 引間誠 宮田大輔 茂木鈴乃 吉田佑 四方田翔太 新井裕希 新井拓也

三峯神代神楽	大滝中学校	中 3	浅海玲奈 宮田僚斗 山中愛実 山中敏矢 山中直哉
白久串人形芝居及び白久神明社神楽	荒川中学校	中 3	浅海麗波 浅賀柚津 新井俊介 磯田鈴子 岩岡海渡 内山歩 大嶋洸平 大房優莉香 落合優里 小野将弥 笠原葵 久喜朱花 小林史弥 佐野熙 佐野町拓弥 下野聡太 高橋真冬 高橋結香 千島朱莉 坪井杏 土橋祐子 奈須海弥 原島愛日 三上晃弘 宮崎かなえ 守屋美由紀 山中衣純 山中智樹 浅海光輝 新井ひかり 市川亜寿紗 稲垣匠人 江田真耶香 江原良 大塚葉月 小澤友哉 笠原加奈子 木村優作 島崎渉 千島萌 中島航 中西桜 中村朱里 原美妃奈 原島翔太 引間美玖 福島俊輝 町田悠純 町田洋介 三上麗斗 諸律季 矢端美紅 山中麻由 山中友華 吉田詩織 和田敏子

(2) 秩父市子ども芸術文化伝道師 (小学生 11名、中学生 3名、合計 14名)

児童生徒名	学 校 名	年 齢	芸術文化 (作品等) の名称
今井ひかる	秩父第一小学校	5	絵画 武甲山の図画・作文展 県知事賞
新井 千尋	花の木小学校	6	絵画「秩父神社」 県民の日記念絵画コンクール 県知事賞
坂本 晏路	原谷小学校	6	絵画「ロボットと地球脱出」 身体障害者福祉のための第55回埼玉県児童生徒美術展覧会 東京新聞さいたま支局長賞
金子 遥	高篠小学校	3	絵画「大きなショベルカー」 第48回郷土を描く児童生徒美術展 県知事賞
松崎 由芽	高篠小学校	5	作文「また登りたい武甲山」 武甲山の図画・作文展 県知事賞
米持萌々子	影森小学校	2	書写 埼玉県硬筆展覧会 埼玉県書写書道教育連盟賞
杉田 乙葉	影森小学校	3	書写 埼玉県硬筆展覧会 推薦賞
吉野真太郎	影森小学校	5	創作「牛乳パックでおばあちゃん専用テーブル」 埼玉県発明創意くふう展 埼玉県産業教育振興会長賞
齋藤 咲花	吉田小学校	1	絵画「うさぎとおいかげっこ」 県民の日記念絵画コンクール 県知事賞
根本 美空	吉田小学校	1	絵画「さかなとおさんぽ」 身体障害者福祉のための第55回埼玉県児童生徒美術展覧会 埼玉新聞社長賞

澤井 小夏	荒川東小学校	5	作文「弟の笑顔は宝物」 ヒューマンフェスタ2014発表 県知事表彰
笠原 玲音	秩父第二中学校	1	絵画「武甲山」 第48回郷土を描く児童生徒美術展 県知事賞
原嶋 洸太	秩父第二中学校	3	絵画 武甲山の図画・作文展 県知事賞
齊藤 萌	影森中学校	3	ダンス「ヒップホップダンス」 第1回全日本小中学生ダンスコンクール 金賞

### ③ 秩父市子どもスポーツマスター

#### 1 趣 旨

スポーツの各分野において優れた成果のあった児童生徒に「秩父市子どもスポーツマスター」の称号を授与する。

#### 2 平成25年度秩父市子どもスポーツマスター授与児童生徒

(小学生6名、中学生7名、合計13名)

児童生徒名	学 校 名	年 齢	スポーツの名称等
浅見 葵	影森小学校	4	BMX
浅見 渚	影森小学校	2	2013UCI BMX世界選手権出場
鳶田 海飛	吉田小学校	1	
小島 夢大	吉田小学校	2	柔道(個人) 第26回県民総合体育大会 第2位
岩田 太吾	荒川東小学校	6	剣道(団体)
新井 達也	荒川東小学校	4	第36回全国スポーツ少年団剣道交流大会埼玉県代表選手選考会 小学生団体の部 第1位
土田 朋加	秩父第一中学校	3	弓道(団体)
藤田 彩花	秩父第一中学校	3	埼玉県民総合体育大会兼全国中学生弓道大会埼玉
宮崎 里紗	秩父第一中学校	3	県予選会 第1位
加藤 聖都	秩父第一中学校	3	弓道(団体)
金子 怜詩	秩父第一中学校	3	埼玉県民総合体育大会兼全国中学生弓道大会埼玉
中根 周哉	秩父第一中学校	3	県予選会 第2位
福島 俊輝	荒川中学校	3	剣道(個人) 第36回全国スポーツ少年団剣道交流大会埼玉県代表選手選考会 男子中学生個人の部 第1位



(資料) 称号授与式の様子

平成25年度

子どもちちぶ学士(ジオ学士)・子どもちちぶ博士(ジオ博士)

秩父市子ども伝統芸能伝道師・秩父市子ども芸術文化伝道師

秩父市子どもスポーツマスター

## 称号授与式

- 日時 平成26年1月31日(金) 午後4時00分～午後4時50分
- 場所 秩父市歴史文化伝承館 2階 ホール
- 参加者 授与児童生徒 47名 保護者 55名  
教職員 5名 市関係者 22名



## あとがき

秩父市教育研究所は、①教育に関する専門的・技術的事項の調査研究に関すること、②教育関係職員の研修に関すること、③教育相談及び指導業務に関すること、④教育に関する資料の収集及び提供に関すること、⑤その他教育の充実と振興を図ることを目的として平成17年4月1日に設置され、本年で9年目を迎えました。

秩父市の教育の現状と課題をふまえ、「秩父市学校創造スーパープラン」に基づき、「笑顔とあいさつ 思いやりと感動 志高き 秩父大好き人間を育てる」ことを目標に事業を実施してまいりましたが、その内容につきまして「紀要」第9号にまとめさせていただきました。平成25年度における教育研究所の事業の概要を多くの皆様方にご覧いただくとともに、取組についてご意見をいただき、今後の教育研究所のさらなる充実・発展を図りたいと考えます。

教育研究所が設置され9年目を迎える今年度は、これまでの8年間の反省の上に立ち、秩父ならではの教育活動と特色ある学校（園）づくりを目指して、各学校（園）を支援するために全力を尽くしてまいりました。北部教育事務所と連携した学校訪問や各学校（園）からの要請に基づく訪問指導では、各学校（園）の実態に応じた様々な特色ある教育活動を通して、確かな学力の定着や豊かな心の育成に着実な成果をあげている様子をうかがうことができました。

教職員を対象とした学校経営参画意識を高める研修講座等や各種推進委員会をはじめとする研修会の実施に際しましては、開催時期や実施回数の検討を行い、各学校（園）の日程等を考慮し、調整をしてまいりました。まだまだ十分とは言えませんが、今年度の反省を生かし、充実した研修会の運営に留意してまいりたいと思います。

終わりに、この1年間、秩父市教育研究所の諸事業に際し、ご指導、ご助言をいただきました関係諸機関ならびに多くの皆様に心から感謝申し上げますとともに、今後とも皆様からの一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます、

平成26年3月